

改選期により

骨格予算

3月定例議会は、3月3日から13日までの11日間の会期で開かれました。4月に任期満了による町長選挙が予定されていたので、平成21年度予算は※骨格予算として提案されました。

平成21年度一般会計、特別会計、事業会計など21会計の当初予算と条例改正などの36議案、平成20年度一般会計補正予算など23議案が全会一致で原案のとおり可決しました。

一般質問には、8人の議員が恵みの里づくり計画や経済対策、農業振興などに活発な議論を展開しました。

※骨格予算：人件費、扶助費、公債費などの義務的な経費や、政策的な経費であっても継続的に取り組んでいる事業、早期に予算付けが必要な経費など必要最小限の経費を経常したもの。政策的な経費や新規事業費などについては、その後の補正予算で肉付けされる。



町民一人あたり貯金は18万円(2万円増)、借金は128万円(5万円減)！！

平成21年度の基金（貯金）は、各会計とも骨格予算ということから、あまり大きな変動はありませんが、特別会計の風力発電事業基金では、平成16年度に名和町が行った風車建設の際に、建設費の一部を、町民からの公募債5,000万円で購入していたことから、5年を経過した21年度に、その償還の時期を迎えたため、基金の全額4,431万円を取崩す予定にしています。

町債（借金）のうち、一般会計では、旧3町で行われた「ふるさとフォーラムなかやま建設事業」「花街道整備事業」「保健福祉センターだいせん整備事業」等の借金の返済が終わったことから、前年に比べ、5億3,993万円減少しています。特別会計でも、公共下水道や農業集落排水施設整備の完了により、8億9,149万円減少しており、町債借入額の抑制効果とともに、財政は健全な方向に向かいつつあるようです。

基金・町債残高（平成19年度～平成21年度見込）

区 分		19年度末現在高	20年度末現在高(見込)	21年度末現在高(見込)
基金（貯金）残高	一般会計	24億5,489万円	28億4,281万円	28億2,122万円
	特別会計	6億9,520万円	5億8,825万円	5億4,760万円
町債（借金）残高	一般会計	124億3,689万円	122億1,312万円	116億7,319万円
	特別会計	138億4,717万円	131億1,122万円	122億1,973万円